

ホリゾン注射液 10mg

【この薬は？】

販売名	ホリゾン注射液 10mg Horizon Injection 10mg
一般名	ジアゼパム Diazepam
含有量 (1管 2mL 中)	10mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗不安薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳のベンゾジアゼピン受容体に作用し、脳の過剰な興奮をはずめて、不安や緊張をやわらげたり、けいれんを抑えたりするはたらきがあります。
- ・次の病気の人に処方されます。

神経症における不安・緊張・抑うつ

下記疾患及び状態における不安・興奮・抑うつの軽減

麻酔前、麻酔導入時、麻酔中、術後、アルコール依存症の禁断（離脱）症状、分娩時

下記状態における痙攣の抑制

てんかん様重積状態、有機リン中毒、カーバメート中毒

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・急性閉塞隅角緑内障のある人
- ・重症筋無力症のある人
- ・ショック、昏睡、バイタルサインの悪い急性アルコール中毒の人
- ・リトナビル（HIVプロテアーゼ阻害剤）を投与中の人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・心臓に障害のある人、肝臓に障害のある人、腎臓に障害のある人
- ・脳に器質的障害のある人
- ・乳児・幼児
- ・高齢の人
- ・衰弱している人
- ・高度に重症な人、呼吸予備力の制限されている人

○この薬には併用してはいけない薬[HIVプロテアーゼ阻害剤（リトナビル（ノービア））]や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

使用量、使用回数、使用方法等は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下がおこることがあるので、この薬を使用している人は、自動車の運転など危険を伴う機械の操作はしないでください。
- ・この薬を続けて使用していると、薬を摂取したいと強く思いコントロールが出来ないなど、薬物依存の症状があらわれることがあるので、長期間の使用は避けることとされています。このような症状があらわれたら、医師に連絡してください。また、この薬の量を急激に減らしたり、中止したりすることで、けいれん発作、せん妄、振戦、不眠、不安、幻覚、妄想等の離脱症状があらわれることがあるので、この薬を中止する場合には、徐々に減量されます。この薬の使用量や使用期間については医師の指示に従ってください。
- ・アルコール飲料は、この薬に影響しますので控えてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳をしている人はこの薬を使用しないでください。やむを得ず薬を使用した場合は、授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
依存性 いぞんせい	ある薬を摂取したいと強く思いコントロールが出来ない、手足のふるえ、発汗、幻覚、不眠
舌根沈下による気道閉塞 ぜっこんちんかによるきど うへいそく	舌がのどの奥に落ちこんだ状態、呼吸ができない
呼吸抑制 こきゅうよくせい	呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる
刺激興奮 しげきこうふん	口数が多くなる、大声で叫ぶ、周囲に暴力をふるう、器物を破壊する、些細なことで怒る
錯乱 さくらん	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない
循環性ショック じゅんかんせいしょく	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発汗、冷汗が出る
頭部	ある薬を摂取したいと強く思いコントロールが出来ない、幻覚、不眠、口数が多くなる、大声で叫ぶ、周囲に暴力をふるう、器物を破壊する、些細なことで怒る、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白（そうはく）
口や喉	舌がのどの奥に落ちこんだ状態
胸部	呼吸ができない、呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる
手・足	手足のふるえ、手足が冷たくなる

【この薬の形は？】

性状	淡黄色～黄色澄明の液 褐色アンプル入り注射剤
形状	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ジアゼパム
添加物	プロピレングリコール、エタノール、ベンジルアルコール、安息香酸ナトリウム、安息香酸

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：丸石製薬株式会社

(<http://www.maruishi-pharm.co.jp/>)

学術情報部

電話：0120-014-561

受付時間：9時～17時（土日祝日、弊社指定休日を除く）